

平成28年度市町村教育委員会アクションプラン・計画等概要

(日田教育事務所)

No. 1

市町村名	プラン・計画等	目標			行動計画			H28達成指標									
		<p>1. 「全国学力・学習状況調査A問題・B問題」及び「大分県学力定着状況調査」において、全ての学年・すべての教科で大分県平均を上回る。(町独自の学力調査では、全ての学年・全ての教科で期待正答率(目標値)を上回る。</p> <p>2. 「全国学力・学習状況調査A問題」で正答率50%未満の児童生徒の割合を全ての教科で10%未満にする。</p> <p>3. カリキュラムマネジメントの視点(授業改善計画・校内研修・家庭との連携等)に立った学力向上対策の浸透</p>			<p>① 授業改善に関する行動計画 ア 学校全体で取り組む授業改善に向けて(管理職による授業改善の推進は必須、小学校における教科担任制の推進を含む) ○授業改善計画に基づいた検証・改善の確実な実施 ○「新大分スタンダード」に基づく授業観察シート等を活用した管理職の授業観察の実施 イ 習熟の程度に応じた指導の充実に向けて(補充指導の充実を含む) ○習熟度別指導推進教員による公開授業(年3回)の実施 ○学力向上ステップアップ講座の実施…夏季休業中5日間、小学校4年～6年 ウ 司書教諭等を核とした学校図書館を活用した指導体制の確立に向けて ○学校図書館活用教育推進会議(年3回)の実施…学校図書館活用授業参観・学校図書館活用授業の実践例の共有等 ○全学年・全教科における「学校図書館を活用した授業の実施計画」の明示(平成28年度教育課程「図書館活用教育全体計画」の中に) エ 市町村の教科部会を活用した授業改善に向けて(特に中学校) ○教科別研修会及び指導教諭による公開授業を踏まえた研修会の実施 ○教科別研修会及び習熟度別指導推進教員による公開授業を踏まえた研修会の実施</p> <p>② 学びに向かう学校づくりに関する行動計画(幼児小の連携・小中連携を含む) ○「学びに向かう力と思考力・判断力・表現力を高める指導」をテーマにした研究推進校の指定と公開授業の実施 ○小中連携推進事業の一層の充実…中学校ブロックによる年間3回以上の連携会議の実施。</p> <p>③ 保護者・地域と連携した学力向上の取組に関する行動計画 ○〇寺子屋教室の実施…年間35回、4小学校、2年生～4年生 ○放課後子ども教室の実施…4小学校、年間30日前後、1年生～6年生 ○「中央公民館」わらべの館」「自治会館」の講座での、地域の教育力を活用した土曜学習の実施 ○夏季休業中の「学力向上ステップアップ講座」への高校生の参加を事務所と協力して実施</p> <p>④ その他 ○家庭教育講演会の実施…保護者の家庭教育力の向上に向けて</p>			<p>○全国調査・県調査で、全ての教科で県平均を超えた学校数 小学校(7/7) 中学校(6/6)</p> <p>○全国調査A問題で50%未満正答率の児童生徒の割合が10%未満の学校数 小学校(7/7) 中学校(6/6)</p> <p>○4点セットに家庭との協働で家庭学習に関する取組内容を入れている学校(100%)</p> <p>○児童生徒質問紙で、「学校の授業がわかる」と肯定的に答えた児童生徒の割合 小学校:80% 中学校:70%</p>									
玖珠町	体力向上アクションプラン	<p>目標</p> <p>○運動の習慣化・日常化を図り、運動好きな子どもを増やす。</p> <p>○各学校における組織的な取組の充実により、児童・生徒の体力向上を図る。</p>			<p>行動計画</p> <p>&lt;教育委員会&gt; ・体育専科教員配置校において実践事例を公開する。(ICT活用を含む) ・教育広報誌(教育委員会作成)で各学校の体力向上に係る取組を紹介し、併せて家庭でできる体力づくりの例を紹介する。 ・体力運動能力調査の結果を分析し、課題がある調査項目と関連のある運動を体育主任会で提示する。</p> <p>&lt;各学校&gt; ・体力運動能力調査の結果を分析し、課題がある調査項目と関連のある運動を授業の一部に取り入れる。 ・ホームページや学校便りを利用して自校の体力向上に係る取組を紹介する。 ・体力測定コーナーの設置、体力測定カードの活用等、体力向上についての関心を高める取組を充実させる。 ・部活動間の連携による体力向上への取組を充実させる。(中学校) ・栄養教諭と教務主任を中心とした食育の計画的実施(町内全校を訪問し、食育の授業を行う。各校年間2回以上。) ・PTAや学校運営協議会と連携し、生活習慣に係る目標を協働して達成する取組を行う。(例:歩いて登校・早寝早起き朝ごはん・家庭での体力づくり等)</p>			<p>H28達成指標</p> <p>・運動好きな児童生徒の割合 小男90%・小女90%以上 中男85%・中女75%以上</p> <p>・体力テストにおける全国平均以上の項目の割合 小男50%・小女50%以上 中男50%・中女60%以上</p> <p>・体力総合評価におけるD・E層の割合 小男25%・小女30%・小女高20%以下 中男25%・中女15%以下</p>									
		<p>目標</p> <p>(不登校生徒数・出現率)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>在籍者数</th> <th>不登校数</th> <th>出現率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全中学校</td> <td>406</td> <td>2</td> <td>0.49%</td> </tr> <tr> <td>全小学校</td> <td>785</td> <td>1</td> <td>0.13%</td> </tr> </tbody> </table>				在籍者数	不登校数	出現率	全中学校	406	2	0.49%	全小学校	785	1	0.13%	<p>取組及び地域不登校防止推進教員の活用計画</p> <p>○取組 &lt;計画・組織&gt; ・玖珠町「不登校対策計画」の作成・各学校の「不登校対策計画」の作成指導・各学校の校内不登校対策委員会の活性化及び各学校の教育支援体制充実への指導助言 &lt;未然防止&gt; ○魅力ある学級づくり/学校づくりの推進・「居場所づくり」/「絆づくり」を推進した学級・学校づくり ○玖珠町「小中連携事業」の充実・小中間の情報共有、小中連携シートの活用 &lt;初期対応&gt; ○欠席初期対応「あったかハート1・2・3」の校長会・教頭会・教務主任会での周知徹底 ○月例報告による欠席者把握と学校訪問による早期対応支援 &lt;学校復帰支援&gt; ○教育相談センター、町福祉保健課、地域福祉室との連携強化 ○校内支援体制の充実(SCの積極的かつ効果的な活用)</p> <p>○地域不登校防止推進教員の活用計画(拠点校) &lt;計画・組織&gt; ○校内「不登校対策計画」の作成・生徒実態を踏まえた不登校対策計画の作成と定期的な見直しの支援 ○校内不登校対策委員会の活性化・校内での不登校対策のコーディネートを行い、組織的な対応の推進 &lt;未然防止&gt; ○「絆」/「居場所づくり」を意識した学級づくり、特別活動の実践指導・学級や学校をどの生徒にも落ち着ける場所にしていく・全ての生徒が活躍でき存在感や有用感を感じられる場面をつくる &lt;初期対応&gt; ○生徒指導の三機能を意識した「分かる授業」の展開・「新大分スタンダード」に基づく、意欲の高まる魅力ある授業を指導 ○校区内小学校との効果的な連携支援の推進・町の小中連携推進事業における小中連携のコーディネート &lt;学校復帰支援&gt; ○児童生徒の実態に応じた学校復帰の組織的な支援・担任や学年部と連携した家庭訪問の実施・わかさの広場と連携した支援</p> <p>(教育委員会) &lt;計画・組織&gt; ◇市町村及び各学校の「不登校対策計画」作成の推進・玖珠町及び各学校の「不登校対策計画」作成の推進 ◇市町村及び各学校の不登校対策組織の活性化の推進・拠点校での取組を研修会や学校訪問で普及・生徒指導担当者会での効果的な取組事例の報告 &lt;未然防止&gt; ◇「絆」と「居場所」を意識した「魅力ある学校づくり」のサポート・各学校の不登校未然防止の取組への巡回支援 ◇研修会での講師、助言者としての活用・町の不登校対策研修会での講師、助言者・玖珠町内の各学校での校内研修会での指導助言 &lt;初期対応&gt; ◇中学校と小学校の連携推進・玖珠町小中連携推進事業による小中連携強化・小中連携シートの活用推進 &lt;学校復帰支援&gt; ◇市町村初期欠席対応システム構築の推進・欠席児童生徒の把握(月例報告:月3日以上)の欠席)・各学校の欠席状況の分析 ○「あったかハート1・2・3」の取組推進・校長会・教頭会・教務主任会での周知及び徹底 ○教育支援センターや関係機関、SC等との効果的な連携の推進・わかさの広場(教育相談センター)研修会での指導助言・スクールカウンセラーと連携した支援策の検討・要対協での町福祉保健課等との連携の充実 ○スクールソーシャルワーカーと連携した支援体制の充実</p>
	在籍者数	不登校数	出現率														
全中学校	406	2	0.49%														
全小学校	785	1	0.13%														

平成28年度市町村教育委員会アクションプラン・計画等概要

(日田教育事務所)

No. 2

市町村名	プラン・計画等	行動計画	
			H28達成指標
玖珠町	組織力向上計画	<p>ア 学校評価の改善                      ◇学校評価の改善に係る重点指導内容を次の3点とする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     1 取組指標をより具体化すること。                      2 検証にあたっては、まず、取組指標に基づく取組状況を確認し、                 </div> <p>○上記の3点を徹底するために、以下の取組を行う。・4月の校長・教頭会議で具体例を挙げて周知する。・年度当初の各種主任会において、自己目標設定にあたっては、関係各主任が関わるように指導する。</p> <p>イ 1 主要主任等は、自らの分掌等の教職員に対して、積極的に指導・助言すること。内容を次の2点とする。</p> <p>○上記の2点を徹底するために、以下の取組を行う。・年度当初の各種主任会で教職員の指導に係る課題を共有し、具体的な行動を明確にする。・地教委は学校訪問を行い、企画調整委員会の内容を把握・確認を行い、教務主任会で情報交換を行う。</p> <p>ウ 学校・家庭・地域の協働の推進                      ○コミュニティスクール指定校の学校運営協議会と地域コミュニティが連携した学校・家庭・地域の協働の推進※町コミュニティスクール連携会議の開催(年2回) ○学力向上会議で、学校・家庭・地域の協働について協議</p>	<p>・「芯の通った学校組織」活用推進プラン8つの観点を踏まえた学校評価・学校運営体制を実施している学校(100%)</p> <p>・学校評価に基づく改善策に関する家庭・地域との協議の実施率                      小学校 70 %                      中学校 65 %</p>
	主幹教諭の活用計画	活用内容	
		<p>○人材育成を図る教職員への指導</p> <p>○学校の組織力向上に向けたミドルアップダウン・マネジメント体制の充実</p> <p>○研究主任との更なる連携による授業改善等の学力向上対策の一層の推進</p> <p>○教育課程の管理運営による学習内容の定着</p> <p>○学校運営協議会の事務局としての具体的な取組の推進及び情報発信</p> <p>○教務主任会議における取組事例の発表</p> <p>○主幹教諭による他校訪問の実施</p>	